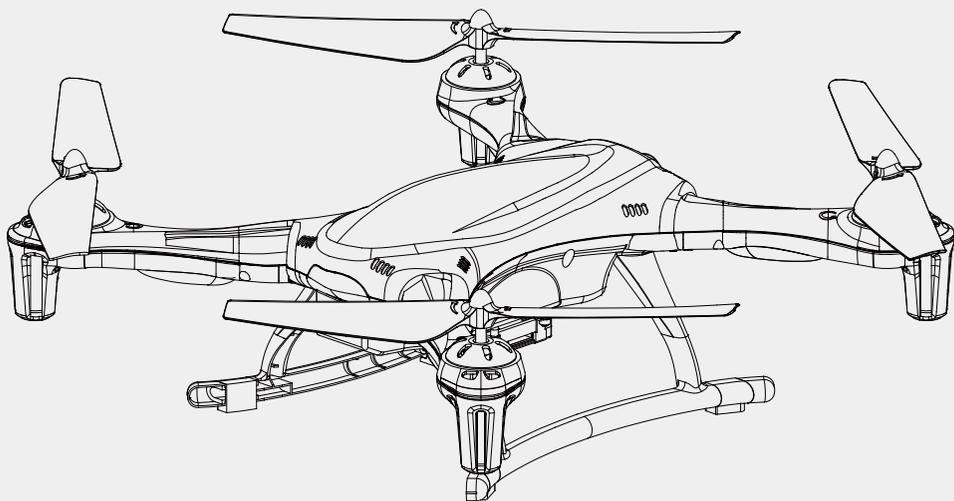


 **Nine Eagles®**

# *Galaxy Vistor 3 Instruction Manual*

ギャラクシービジター3 取扱説明書

**HITEC**  
**MULTIPLEX®**



**GALAXY**  
**VISITOR 3**

**SLT™**

**2.4GHz 4ch**

Transmitter system adopts SLT protocol

## 文中のアイコン表記について



**WARNING**

注意事項です。必ずお守りください

## 目次

注意事項 製品紹介	・カメラシステムの使用方法.....	19
・はじめに・重要事項.....	・GALAXY VISITOR 3 分解図.....	20
・フライト頂く前に必ずお読みください.....	・GALAXY VISITOR 3 パーツリスト.....	21
・Li-Po バッテリー 取り扱い上の注意.....	メンテナンス	
・GALAXY VISITOR 3 製品紹介.....	・プロペラ取り付け方向.....	22
(1) 製品紹介	・プロポと機体のバインド方法.....	22
(2) 製品に関する注意事項	モーター取り付け配線図.....	23
(3) 製品スペック	修理サポート・新品交換保証.....	24
(4) 製品リスト	Q&A.....	25~26
(5) 機体及び送信機の外觀紹介		
・電源を入れる際の注意点.....		
・専用リポバッテリーの充電方法.....		
・通常フライトモード		
1. フライトの基本知識.....		
2. フライトトレーニング.....		
・通常飛行モード.....		
・ヘッドロックモード.....		
・トリム調整.....		
・カムバック機能.....		
・フォローミー /D / R の切り替え.....		

## ご購入頂きましたお客様に重要なお願い

### ・製品保証について

ご購入頂いた際の日付入りレシートや納品書は初期不良交換をさせて頂く場合に必ず必要となりますので、必ず保管くださいようお願い致します。当製品は製品の性質上、ご購入直後(2週間以内)の動作確認時に認められる不良以外、返品・交換はお受けすることが出来ません。

※いかなる場合におきましても飛行後の返品・交換はお受けいたしません。初期不良と判断された場合、弊社の判断にて修理または交換作業をいたします。

## はじめに

この度は当製品をご購入いただき誠にありがとうございます。安全に飛行させるため飛行前に当説明書をよくご覧ください。

※本製品は姿勢制御にナインイーグル社独自の高性能9軸センサーを使用しております。そのため飛行させる際は機体と送信機の電源を入れた時に、機体と送信機を約5秒間水平な場所に置き、センサーのイニシャライズを行ってください。機体のシグナルインジケーターが点滅から点灯に変われば準備完了です。

※本製品はリチウムポリマーバッテリーを使用しておりますので、飛行中にパワーが低下し機体インジケーターライトが点滅した場合は、すぐに飛行を中止し再充電が完了するまでは使用しないでください。飛行後の過放電は保障対象外となります。

※本製品は品質向上の為、予告なく仕様を変更する場合があります。予めご了承ください。

## 重要事項

当製品は玩具ではありません。受信機や送信機は精密機器となります。取扱方法を誤ると重大な事故につながる恐れがあります。当製品をフライト頂くには適切なメンテナンスが必要です。十分ご理解頂いてからフライト頂けますようお願い致します。実際にフライト頂くにはご経験豊富なRCショップ様やフライトクラブ等、適切なアドバイスの下、安全にフライト下さい。当製品の性質上、フライト、付属のリチウムポリマー電池の使用における損失・事故等にはいかなる保証も致しかねます。

フライト場所は地域行政の指示に従い、決して危険な場所でのフライトはお避け下さい。空港周辺・道路・公園・河川敷・広場などでのフライトは禁止されておりますので、十分にご注意ください。フライト場所にお困りの際やフライト方法に不安がある際は、最寄りのRC販売店様またはフライトクラブにお尋ね下さい。

### **WARNING** 適切な場所でフライトをしましょう

当製品をフライト頂くには、安全な場所を確保してください。当製品は高速でローターが回り、人や物に当たると大変危険です。また、周囲に建物や自動車、列車や航空機、高圧線や電線がないことも必要です。公共の場所やRC製品の使用が禁止されている場所でのフライトは絶対におやめ下さい。

### **WARNING** 経験豊富な指導者の助言を得ましょう

当製品をフライト頂くにあたり、上達への近道は経験豊富な指導者の助言を得ることです。正しい設定方法やフライト方法を身につけるには最寄りのRCショップ様やフライトクラブに加入して助言を得ることです。また、フライトシミュレーターを活用することも十分な効果を得ることが出来ます。

### **WARNING** 適切なメンテナンスが必要です

ヘリコプターを操作する際は、高速に回転するメインローターに十分ご注意ください。操縦者とヘリコプターとの間隔は必ず3m以上離れてください。事故や怪我がないように、適切なメンテナンスを心がけてください。当製品の性格上、初めてフライト頂く前にも必ず各部点検(ネジの緩みや電子パーツの動作確認など)を行ってください。

当製品をフライト頂くにあたり、初フライトを含め、各部点検を確実に行ってください。破損個所がある場合は、速やかにパーツ交換を行ってください。破損個所があるままフライト頂く重大事故につながる恐れがあります。また、製品は直射日光に当たる場所や自動車内に放置しないでください。プラスチックが変形する恐れがあります。

## フライト頂く前に必ずお読みください

- 本機体は軽量の為に風の影響を受けやすくなっております。エアコンや換気扇、窓からの風を遮断すると機体が流されることなく安定したフライトを楽しめます。
- 初心者の方は出来るだけ家具の無い広い部屋(8~10畳)での練習をお奨めします。
- 当製品は玩具ではありません。14歳以下のお子様には使用させないで下さい。また、お子様の手の届く場所に保管しないで下さい。
- 飛行に慣れるまでは広い場所での練習をお奨めします。風の影響を受けますので、微風以下の環境で練習して下さい。
- メインローターは回転して大変危険です。飛行中は人の顔や手に回転物が接触しないように安全に飛行させて下さい。特に見物人にご注意下さい。
- 飛行前に必ず各ビスの緩みや脱落がないかを点検して下さい。点検を怠ると最悪の場合、飛行中に部品が飛び危険です。また、激しい着陸や墜落の後は部品にヒビや割れが無いかを確認して下さい。
- 飛行させないときは常に機体からバッテリーを取り外して下さい。そして保管中はお子様に触れさせないように注意して下さい。
- 本機はLi-Poバッテリーを使用しています。この電池は取り扱いを誤ると発火等の危険な事態になる恐れがあります。取り扱い注意事項を守り、安全に飛行をお楽しみ下さい。
- 本機のLi-Poバッテリーは純正充電器のみ使用可能です。それ以外の機器での充電や放電は絶対にお止め下さい。
- 本機のLi-Poバッテリーの充電は高温度や直射日光をお避け下さい。
- 本機のLi-Poバッテリーの保管は金属ケースを避け、コネクタ端子がショートしないように保管して下さい。
- 本機のLi-Poバッテリーを分解や改造しないで下さい。
- 送信機と機体、及びLi-Poバッテリーは絶対に水に濡らさないで下さい。
- 本機は他の2.4GHzの無線LAN等のワイヤレス機器と同じ周波数の電波を使用しています。飛行する際は電波影響のない場所でお楽しみ下さい。
- 当製品の性質上、お客様がご使用(飛行)になって起きました結果に付きまして、一切の保証は致しかねます事をご了承下さい。

## 【NineEaglesヘリコプター製品動作確認手順のご案内】

### 【機体破損の有無】

1. 機体・送信機・付属品が揃っていることを確認し、欠品がないかをご確認ください。
2. 機体・送信機・付属品に破損がないかどうかよくご確認ください。破損を発見した場合はフライトさせずに弊社カスタマーサポートにご連絡ください。

### 【プロボの動作確認手順】

1. プロボの電源を入れ、エルロン、エレベーター、ラダー、スロットルの各種スティックを動かして引っ掛かりがないこと、スティックに追従していることを確認します。
2. トリムスイッチを操作した時、すべてのトリムが正常に増減していることを液晶画面の表示で確認します。その他スイッチ類が正常に切り替わることを確認します。

### 【機体の動作確認手順】

1. 水平な場所で機体の電源を入れ各操作が機体サーボまたはモーターに反映されているか確認します。その後、機体のモーターを少し回した状態で機体を前後左右に傾け、モーターのパワーが増減しジャイロが正常に作動していることを確認します。

## WARNING Li-Poバッテリー 取り扱い上の注意 (必ずお読みください)



Li-Poバッテリーは小型軽量で高性能ですが取扱を誤ると大変危険な電池です。最悪の場合、火災・死亡事故に至る危険性を持つことを十分に理解して慎重にお取り扱いください。その為に当説明書を必ず最後までお読みになり、注意事項を厳守下さるようお願い致します。

### 1. 取扱上の重要事項

- Li-Poバッテリーを使用するにあたり、必ず正しい取扱い知識を習得してください。
- 設定が正しい充電の場合でも、各セルの電圧のばらつきにより発火する可能性があります。
- 充電は燃えやすいものが近くない場所で、目を離さないように行ってください。
- 過充電の火災に備えて消火器等を備えてください。
- 充電は必ず付属の送信機または専用充電器をご利用ください。
- 送信機・専用充電器での充電のみご利用頂き、機体以外での放電は行わないでください。
- 本製品は模型用充電池リチウムポリマー電池です。他の用途には使用できません。
- 変形や臭い、変色等の異常を見付けた場合は使用しないでください。
- 電池パックを絶対に分解・改造しないでください。
- 過放電してしまったバッテリーはご使用頂くことができなくなります。放電し過ぎないようにご注意ください。
- 軽い過放電でも繰り返ししてしまいますとLi-Poバッテリーが次第に傷んでいきます。
- Li-Poバッテリーは消耗品となりますので、初期不良品以外の交換・返品は致しかねます。

### 2. 充電時の注意

- 充電中は離れずに常に監視をして、異常事態に対処してください。
- 万一充電中にリチウムポリマーバッテリーが膨れ始めたら直ちに充電を中止してください。(さらに充電し続けると爆発します)バッテリーを外して安全な場所で様子を見てください。
- リチウムポリマー電池にはメモリ効果がないため、放電無しで追加充電するだけで使用可能です。
- 送信機で充電頂く際はスイッチを切っても微弱電流が流れるため、その状態で数時間放置すると過放電になってしまいます。充電完了後は、バッテリーを必ず送信機・USB充電器から抜くようにしてください。
- 充電中は電池と充電器を不燃性の台の上に設置してください。
- 充電器は高温になりますので、火傷にご注意ください。
- 充電器が完了したら必ず電池を充電器から取り外してください。

- 充電前に電池をよく確認して、少しでも膨らんでいる場合は、ダメージを受けている恐れがありますので、絶対に充電(使用)しないでください。
- 充電は電池温度が0～35度の範囲で行ってください。

### 3. 機体がクラッシュ(墜落)した場合

- 墜落や衝突で電池が強い衝撃を受けた場合、膨張発火の恐れがありますので、発火しても火災にならない場所に暫く放置して様子を見てください。
- 強い衝撃を受け、内部構造が変形した電池や、被覆が破れた電池は使用できませんので適切に破棄してください。

### 4. 電池の保管・保存

- 必ず丈夫なケースに入れて保管し、コネクタの端子間がショートしないように注意してください。
- 電池のラミネート被覆は絶対に穴を開けないでください。発火の恐れがあります。
- 保存可能温度は-20～60度ですが、性能を保つためには10～50度の範囲内の乾燥した場所に保存してください。25度での保存が最も性能劣化を防げます。
- 車内など60度以上の高温状態に放置すると発火する場合があります。
- 長期保存の場合、少なくとも6ヶ月に一度は充電→放電→保存充電を行い、性能を維持してください。
- 電池から液が漏れていた場合、直接手を触れないでください。
- 満充電で放置しないでください。気温が上昇した場合は電圧が上がリ、過充電状態になり電池が膨らみ危険です。保存する場合は50～70%程度の充電量で保存してください。

### 5. 電池の運搬・廃棄

- 電池の運搬中は電池表面に力が掛からないようにケースに入れて運搬してください。
- 電池を破棄する場合は約2日間、5%程の食塩水に浸してください。電池が完全に放電され不燃物として破棄することが可能です。
- 絶対に火の中に投げしないでください。爆発します。
- 電池をリサイクルする場合は、詳しい方法をお近くのリサイクル協力店様にお問い合わせいただき、適切に行ってください。

## イントロダクション

GALAXY VISITOR 3はGALAXY VISITOR 2をさらに進化させたミドルクラスクワッドコプターです。本機体には優れた安定性と操作性を発揮する9軸システムに加え、新たに気圧センサーを装備します。これにより機体の高度を自動的に補正し初心者の方の操縦の負担を低減します。機体サイズの大型化と大容量バッテリーによる余裕のフライトから屋外での空撮性能が飛躍的に向上しております、それでは本説明書をよくご覧になった上、GALAXY VISITOR 3のフライトをお楽しみください。

## 製品特徴

- ・気圧センサーが装備され、高度制限、高度ロック、ノーマルと新たに3タイプのフライトモードを搭載。
- ・機体の向きにかかわらず、同じ操作が可能なヘッドロックモードを搭載。  
ヘッドロックモードでは機体の向きに応じて操作方向が異なることが無くなりますので初心者の方には最適です。
- ・送信機の手元にあるD/Rボタンにより舵の効き具合を二段階で切り替え可能。
- ・機体がボタンひとつで送信機の近くに戻るカムバック機能を搭載。
- ・ブレイキファンクション搭載。
- ・カメラシステムを装備することで簡単に空撮が可能。
- ・機体各部にLEDナビゲーションライトを搭載し機体の向きや位置を直ぐに判断可能。

## 製品に関する注意事項

当製品はすべて飛行調整を行った状態で出荷しております。そのため通常はお客様ご自身で細かな設定を行う必要はございません。お求めいただいた商品にトラブルが発生した場合や、技術的なご質問がある場合はまず25ページのQ&Aや弊社サポートページご覧いただいた後、販売店様または弊社カスタマーサポートにお問い合わせください。

スペアパーツにつきましては弊社オンラインショッピングや機体をご購入された販売店様にてお求めいただけます。お近くの販売店様をお探しの場合は弊社HPのお取り扱いショッパー一覧をご覧ください。

<http://www.hitecrod.co.jp/shop/index.htm>

※当製品は送受信電波に「SLTプロトコル」を採用しています。このため、これまでのNineEaglesプロトコル 製品(SoloMaxxやHughesSX, SoloPro328など)とは互換性がありません。そのため、これらの機体と当製品に付属の送信機はバインドできません。また、本製品付属のJ4送信機は磁気センサーを装備したGALAXY VISITOR 3専用となっている為、全ての機能を使用する為には付属の送信機以外の送信機では正常に動作いたしません。予めご了承ください。

※当製品は製品向上の為、説明書の内容及び製品仕様を予告なく変更する場合がございます、予めご了承ください。

※以下に記載する場所では磁気センサーが正常に動作しない場合があります。

本製品は送信機と機体に電子コンパス(地磁気センサー)が搭載されています。これにより機体や送信機の方角を測定し、このデータを各機能の制御に使用しています。屋外では問題無く地磁気を検出できますが、下記の場所では地磁気が弱くセンサーが正確に方角を検出できず各機能が正常に機能しない場合がありますので予めご了承承願います。

「鉄骨製の倉庫」、「鉄筋ビルの室内」、「機器の多い室内」、「都心のビル街」、「鉄塔の近く」、「金属等の導電性の床」

## スペック

TX..... NE-TXOS216-BS(4CH 2.4GHz SLT) GV3専用

RX ..... NE-MASF12:4in1(9軸センサー・気圧センサー・ESC・ミキシングシステム・2.4GHz受信機)

メインローター径.....	147mm	機体全備重量.....	135g
全 長.....	163mm	モーター.....	Φ 8.5コアレスモーター×4
全 幅.....	163mm	バッテリー.....	3.7V 1200mAh Li-Po
全 高.....	78mm		

## <カメラ>

記録媒体.....32GBまでのmicroSDHC

サイズ.....40×20×8mm(L×W×H)

動画ファイル仕様.....JPEG 1280×720/30fps/ファイル拡張子 avi

音声ファイル仕様.....PCM S16 LE mono

静止画ファイル仕様.....1280×720/96dpi/拡張子 jpg

## 同梱品一覧



※画像は試作機のため、一部仕様や形状が異なる場合があります。

内容物	カメラ付	カメラ無
	RTF	RTF
① Galaxy Visitor 3 本体	1	1
② 2.4GHz 4ch J4 送信機 (SLT 仕様)	1	1
③ カメラ	1	—
④ 2GB Micro SDカード	1	—
⑤ カードリーダー	1	—
⑥ 単三アルカリ電池	4	4

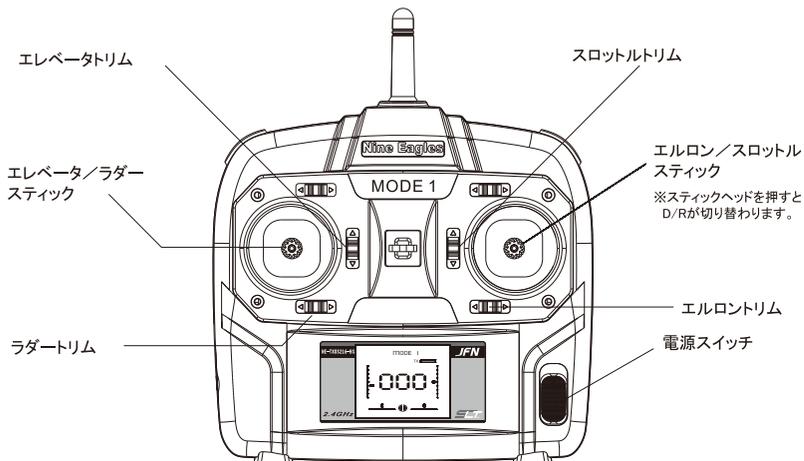
内容物	カメラ付	カメラ無
	RTF	RTF
⑦ 予備プロペラ	4	4
⑧ ドライバー	1	1
⑨ 3.7V 1200mAh リポバッテリー	1	1
⑩ 専用充電器セット	1	1
⑪ 取扱説明書	1	1
⑫ 予備スクロュー	4	4

※ 通常セットの場合はカメラシステムとMicroSDカード及びカードリーダーはオプションとなります。  
カメラ付きフルセットの場合はカメラシステムとMicroSDカード及びカードリーダーが標準で付属します。

## 送信機各部名称 (モード1)

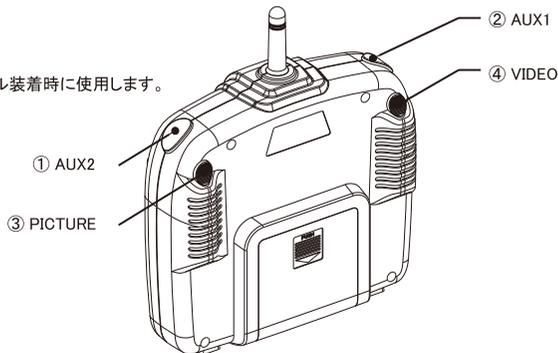
※スティック配置は【モード1】固定です。

- ・ 右スティック: エルロン・スロットル操作
- ・ 左スティック: エレベータ・ラダー操作

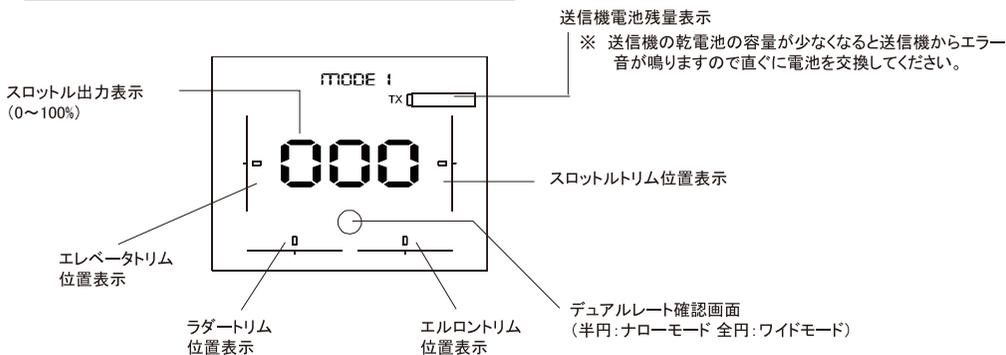


- ① AUX2 ..... スロットル制御モードの切り替えボタン
- ② AUX1 ..... ヘッドロックモードとカムバック機能を使用する際のモード切り替えボタン
- ③ PICTURE ..... 写真撮影用ボタン\*
- ④ VIDEO ..... 動画撮影用ボタン\*

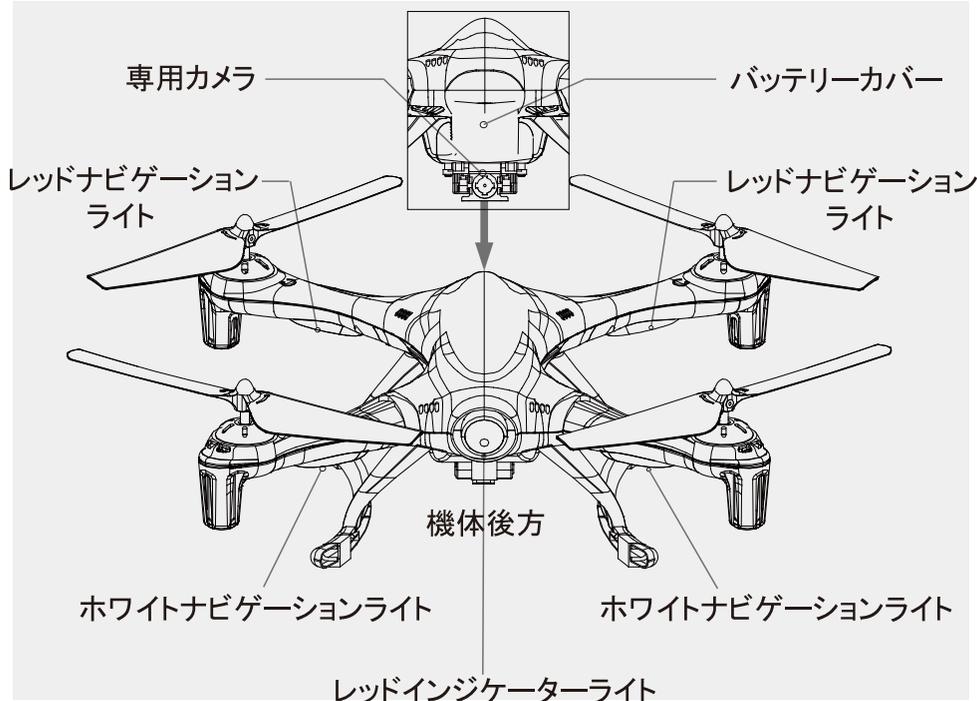
※カメラ無しモデルはオプションのカメラモジュール装着時に使用します。



## 液晶画面表示 (モード1)



## 機体外観紹介

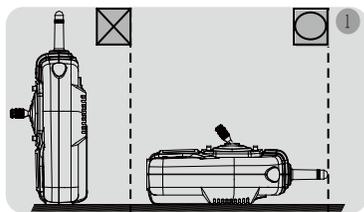


※インジケータライト側が機体後方、バッテリーカバー側が機体前方となります。

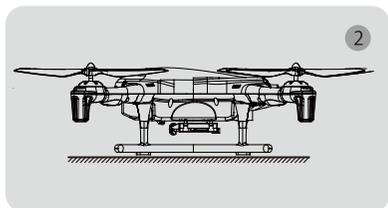
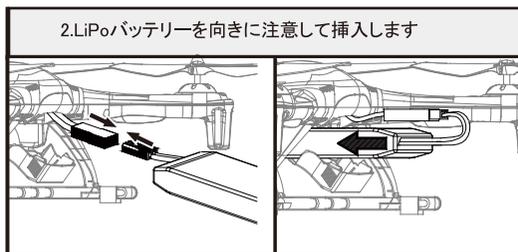
## 電源を入れる際の注意点

GV3は送信機と機体に地磁気センサーが搭載されております。その為、機体と送信機の電源を入れた時に地磁気センサーのイニシャライズが自動的に行われます。地磁気センサーの性能に影響を及ぼしますので、電源を入れたら送信機・機体ともに機体のLEDが点灯しバインドが完了するまで水平な場所に置かさないようにしてください。

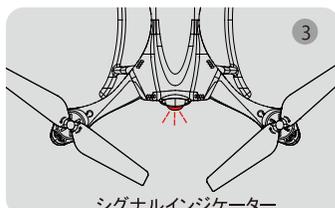
- 送信機の電源を入れる時は毎回、水平な場所に5秒間ほど置きイニシャライズを行います。また、送信機スロットルスティックが最スローであることを確認し、その他の舵は所定の位置より動かさないようにしてください。以上の点を注意することで機体が正しく動作します。



- 機体にバッテリーを挿入し接続したら、機体のインジケータライトが点滅から点灯に変わるまで水平な場所に置きます。機体側のイニシャライズも行います。



※水平な場所に置いてください。



シグナルインジケータ

※点灯に変わるまでお待ちください。

## 専用LiPoバッテリーの充電方法

- 1.ACアダプタを専用充電器に接続します。
- 2.ACアダプタを家庭用コンセント(AC100V)へ接続します。
- 3.充電器の赤LEDが点灯したことを確認します。
- 4.専用LiPoバッテリーを充電器へ接続します。
- 5.+/-ボタンで充電電流を設定します、通常充電する場合は1.2Amps、急速充電する場合は1.8Ampsに設定してください。 ※ +/-キーで数値を変更した後、すぐに「START」ボタンを押し込み、数値を確定させる必要があります。その後、再度 「START」ボタンを押しこむと充電が開始されます。
- 6.充電器の赤LEDが点滅し、充電開始をお知らせします。
- 7.充電が完了すると、全てのLEDが点滅し、アラーム音が鳴って充電完了をお知らせします。
- 8.充電が完了したら速やかにACアダプタをコンセントから外します。  
LiPoバッテリーも充電器から取り外して下さい。

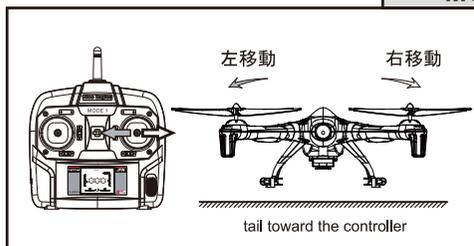


充電時間目安: 40~90分(残量によって変化します)

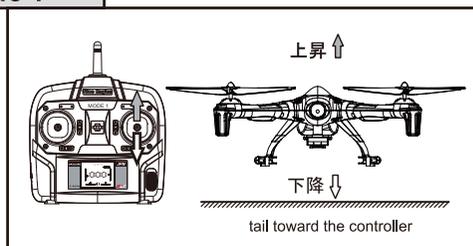
※バッテリーを充電器につないでもブザー音が鳴りスタートを押しても充電が開始されない場合  
バッテリー過放電によりがご使用いただけない状態になっている可能性があります。  
別のバッテリーをご用意頂き、動作をご確認下さい。

## フライトの基本知識

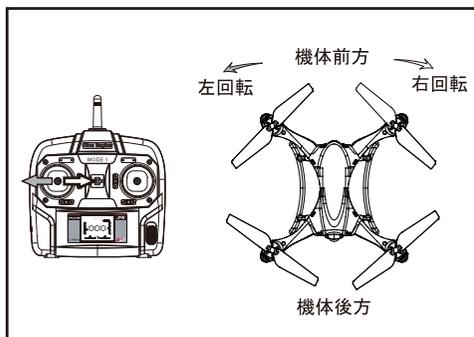
### Mode 1



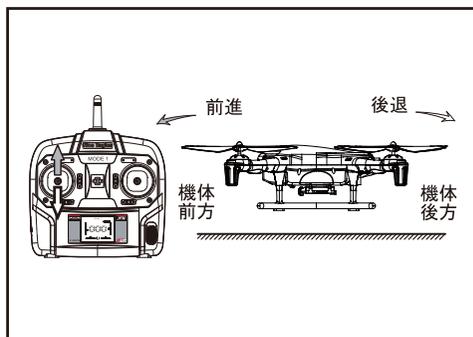
1. 画像のような向きで機体を自身の前方に置きフライトさせた場合、エルロンを右に打つと機体は右移動し同様に左に打つと左移動します。



2. スロットルスティックを上下に操作すると、スティックの動きに応じて機体は上昇・降下します。



3. ラダースティックを左右に操作すると機体は左右に機首を振ります。



4. エレベータースティックを上下に操作すると機体は前進・後進します。

※: 上記の4つの図の中の(4)のみ機首が左を向いています。他の画像では常に機体の後ろ側を見ながら操縦している状態であり、つまりは操縦者は実機を操縦する時と同じパイロット目線で操縦することとなります。しかし、RCでは操縦者の立つ位置や操縦者に対して機体の向きが変わると送信機の操作に対して、機体はその向きに応じた反応を見せます。そのため操縦者は機体の向きに応じた適切な舵を打つ必要があります。初心者の方は機体の後ろ側を見ながら操縦し機体の高度を一定の高さで飛行できるようにし、徐々に他の姿勢でも適切な舵を打てるように機体の操作に慣れてください。

## フライトトレーニング

### フライトエリア

フライト場所には、障害物のない広い空間を選んでください。屋外で飛行する場合は、木や電柱などの様々な障害物がある場所は避け、強風時の飛行は避けてください。

### フライト練習

- 1 飛行前点検の後、送信機と機体の電源を入れます。
- 2 機体の後方が自身に向くように、3メートル程離して置きます。
- 3 機体が確実に離陸するまでゆっくりとスロットルを上げ離陸したらスロットルを操作し機体の飛行高度を調整します
- 4 初心者の方は飛行高度をコントロールすることに集中してください、飛行に適した高度は地面からおよそ50cmの高さです。30cm以下で飛行させると、しっかりと当て舵を打たなければ地面効果の影響を受け、飛行が不安定となります。また飛行高度を上げ過ぎても操作を誤った際にダメージが大きくなりますので高く上げ過ぎないように注意してください。
- 5 機体の高度を上手に制御できスムーズな離着陸を行えるようになったら、ラダーを操作し機体の後方が常に自分と対面するように、機体の向きを制御する練習をします。
- 6 機体の向きに常に注意を払い、エルロン・エレベーターのスティックを操作し、その場でホバリングできるように練習します。最終的には機首がどちらを向いても、正しく操作できることが上達の道です。

### 注意：

- 1 機体が50cm程の高さより上昇しなくなりバッテリーのパワーが無くなってきたらすぐにフライトを中止し、着陸させてください。再度、飛行させる場合は必ずバッテリーをフル充電してから飛行させてください。
- 2 機体のLIPOバッテリーを取り外したらすぐに送信機のスイッチを切ってください。
- 3 機体が飛行中に何らかの障害物に衝突し墜落してしまった場合は、機体のダメージを最小限にするためすぐにスロットルスティックを下げてください。また、機体に損傷がないかよく確認してください。
- 4 長期間フライトをさせずにバッテリーを保管する必要がある場合は、機体からバッテリーを取り外しバッテリーの電圧が3.85Vを下回らないように注意して保管してください。同時に送信機の電池も取り外してください。保存に適した電圧（3.85V程度）にするには、バッテリーをフル充電した状態から2～3分程飛行させると良い状態となります。

### ブレーキファンクション機能

Galaxy visitor 3 はブレーキファンクション機能を搭載しています。

通常のRCヘリコプターはエルロン、エレベーターの舵を用いていずれかの方向に飛行している時、スティックをニュートラル（中立）にしても適切な当て舵を打たなければ、機体の姿勢は水平状態には戻りません。しかし、Galaxy visitor 3 には、ブレーキファンクション機能があるので飛行中にエルロン、エレベーターの舵をニュートラル（中立）にすることで機体の傾きを水平状態へと補正し、直ぐにホバリングに移行可能です。

## 通常フライトモード

RC ヘリコプターは送信機からの命令を受信し動作しますが、操縦者と機体の向きの違いにより実際に動作する方向が異なります。これが通常のコントロールモードとなり、操縦者は機体の向きに応じて適切な操作をしなければなりません。例えば、送信機のエルロンスティックを操作した時に機体の後方が自身と送信機に對面していれば機体はスティックを動かした方向と同一の動作をします。

(図 1 参照)

しかし、飛行中に機体の向きが変化した場合は上記の動作は変化します。機体の前方が自身と送信機に對面している場合は、エルロンを左右に操作した時に機体の動作は逆となります。これはエレベーターの舵についても同様です。

(図 2 参照)

飛行中に向きが変わると對面 / 正面 / 側面のように様々な向きが発生し、スティックの操作と実際の機体に反映される動きはそれぞれ異なります。これに応じ機体の向きにより適切な舵を打たなければならない為、初心者の方は難しく感じるかと思います。またマルチコプターは離れてしまうと機体の向きがわかりづらいという点も難しい要因の一つです。しかし、GALAXY VISITOR3にはこれらの問題を解決できるヘッドロックモードといった独自の機能があります。

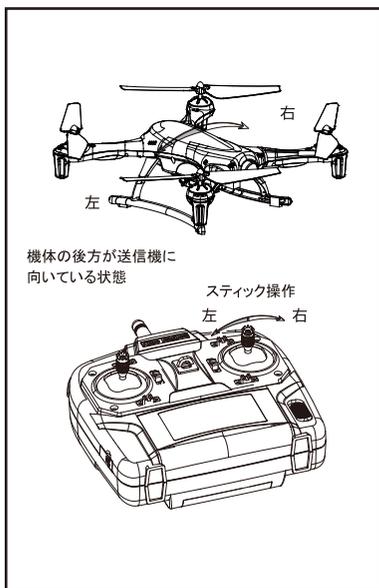


図 1

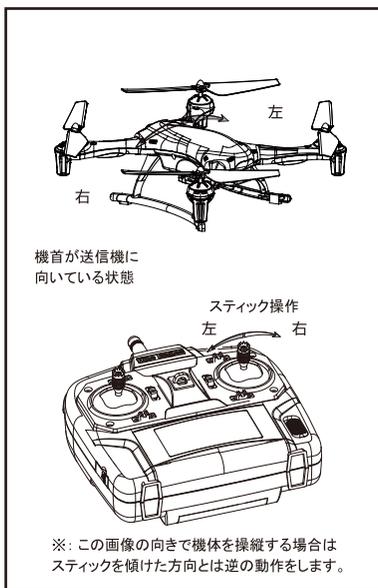


図 2

## ヘッドロックモード

この機能を使用し機体を飛行させると機体の向きに関係なく実際の機体に乗リパイロットの目線で操縦してゐるかのように常に同じ操作方向にて操縦可能となります。

(図 1 参照)

- 機体が90° 方向転換して側面を向き、機首が左を向いている状態においても、ヘッドロックモード作動時はエルロンスティックを左右に動せば機体は左右移動を行います。
- ヘッドロックモードでは通常フライトモードとは異なり、姿勢の向きに注意し操作する必要はありません。
- フライヤーは機首がどちらに向いていても常に同じ操作方向となり対面 / 正面 / 側面といったように機種別の向きにより操作方向が変わるという概念が無くなります。
- ヘッドロックモードで機体を操縦する際は送信機のアンテナの先を機体に向け続けることで、より良いパフォーマンスを発揮します。

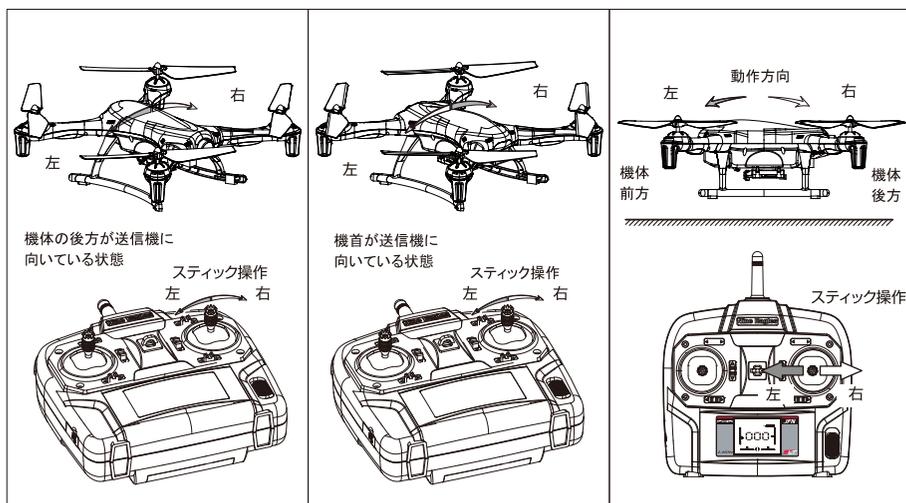
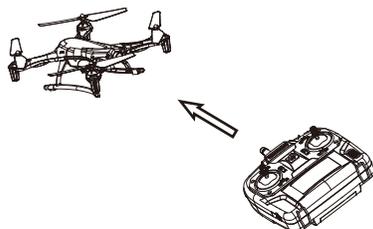


図 1

## ヘッドロックモードの注意点

ヘッドロックモードでは飛行中に機体の向きを変化させた場合も同様に機体にアンテナの先を向け続けてください。アンテナの向きが著しくずれてしまうとヘッドロック機能は不安定となります。また、地面に置いた状態で機体の向きを手で変えてしまったり、ヘッドロック作動中に一度着陸してしまうと同様に不安定となります。

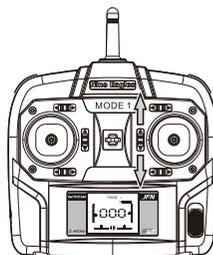


## トリム調整

### Mode 1

#### スロットルトリム調整

通常、スロットルトリムは調整する必要はありません。スロットルレバーが最スローの状態でもーターが回ってしまう場合はトリムを下方向に調整し、レバーを上げてモーターが回りづらい場合はトリムを上方向に調整します。



#### ラダートリム調整

機体がある場で回転する場合、回転を止めるためにラダートリムを使用し、機体が回転する方向とは逆に調整します。

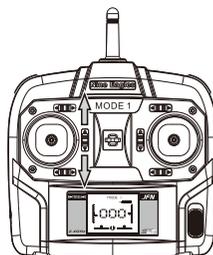
機体を上から見て時計回りに回る場合は、トリムを左方向へ調整し、反時計回りに回る場合は右方向へ調整します。



#### エレベータトリム調整

機体が前進・後進してしまう場合は、エレベータトリムを使用します。機体が進んでしまう方向とは逆に調整します。

機体が進んでしまう場合は、トリムを下方向へ調整し、後退してしまう場合は上方向へ調整します。



#### エルロントリム調整

機体が水平方向の左右に移動してしまう場合は、エルロントリムを使用します。機体が進んでしまう方向とは逆に調整します。

機体が右へ移動してしまう場合は、トリムを左方向へ調整し、左へ移動してしまう場合は右方向へ調整します。

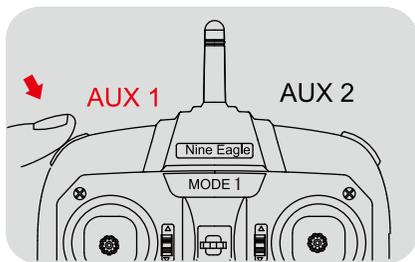
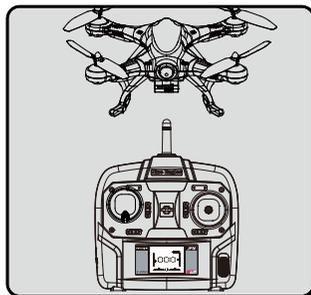


## カムバック機能

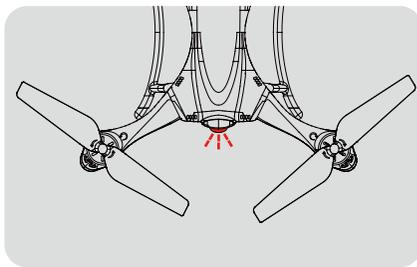
### ・カムバック機能とは

通常飛行、ヘッドロックモードの2つのモードにおいて、飛行中機体が遠くに行ってしまう、姿勢が分からなくなり操縦が困難になった場合は送信機のAUX1ボタンを1回押すことでカムバック機能が作動し、GALAXY VISITOR3は操縦者の近くに戻ってきます。カムバック機能作動中は赤色LEDのシグナルインジケーターが高速点滅します。

※ 自動着陸機能ではありません



飛行中に素早くAUX1ボタンを1回押すことでカムバック機能が作動します。



カムバック機能作動中はシグナルインジケーターが高速点滅します。

### ・カムバック機能使用時の注意事項

- 1 カムバック中もスロットルの操作を行い、地面付近の障害物に当たらないように注意してください。
- 2 送信機は地面に対して水平に持ち、アンテナの先を機体に向けてください。また、送信機と機体の間には障害物がないようにしてください。
- 3 カムバック時に操縦者の上を通り過ぎてしまったら操縦者はすぐに向きを変え、送信機を機体に向け直してください。そうしなければ、操縦者の上を通りすぎたままずっと遠くへ離れてしまいます。
- 4 初めてカムバック機能を使用する場合は、障害物のない広い場所で行ってください。

### ・カムバックのキャンセルの仕方

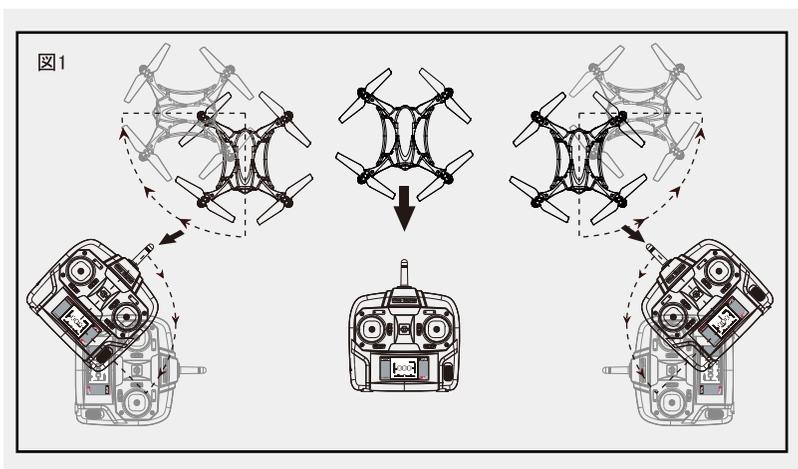
方法1 カムバック時、エレベーターまたはエルロンのいずれかのスティックを操作すると、カムバック機能はキャンセルされます。キャンセルされた後は通常のフライトモードになりますので、各スティックの操作が必要となります。

方法2 再度AUX1ボタンを一度押してください。

## フォローミーアクション

カムバック時はエルロン・エレベーターのスティック操作を行わなくても機体を操縦することが可能です。図1に従い、送信機の向きを変えアンテナの先の照準をあえて機体から逸らすことで機体の進行方向を変えることができます。機体の動きを良く確認し、適切な方向に送信機のアンテナの先を向け上手に操縦できるように練習してください。この動作を組み合わせることでカムバック時のコースの修正やフォローミーアクションを行えます。

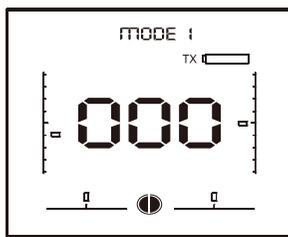
- カムバック機能は通常フライトモード、ヘッドロックモードどちらのモードでも使用可能です。
- カムバック時のコントロール精度に影響を及ぼしますので機体のコントロールはプロポを地面に対して水平な状態で持ち向きを変えるようにしてください。



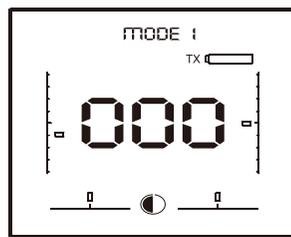
## D/R(デュアルレート)の切り替え

デュアルレート設定で送信機操作量をワイド (100%)・ナロー (70%) の2通りに切り替えができます。ナローモードは主に室内向け、ワイドモードは屋外向けとなります。

1. 送信機の電源が入っている状態で右スティックを押し込みます。
2. 送信機液晶画面でワイド・ナローモードどちらかが確認できます。



ワイドモード

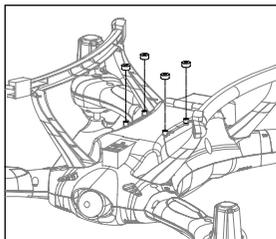


ナローモード

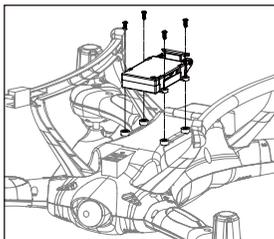
## カメラシステムの使用法

### (1) カメラの取り付け方法

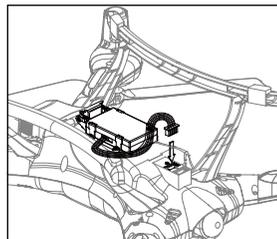
- 1 機体背面のカメラを固定する4つの円柱にラバーゴムを合わせてください。(図1 参照)
- 2 カメラを円柱に合わせネジで固定します。(図2 参照)
- 3 コネクターの向きに注意してカメラコネクタを機体背面の差し込み口に入れてください。(図3 参照)



(図1)



(図2)



(図3)

### (2) カメラシステムの録画と写真撮影の方法

- 1 カメラ側面のSDカードスロットにカードをしっかりと差し込み、送信機と機体の電源を入れてください。
- 2 写真撮影を行う場合は送信機の (PICTURE) ボタンを押してください。撮影が行われると (図4) の赤色LEDが1秒~2秒ほど点滅した後、再度点灯します。
- 3 動画撮影を行う場合は送信機の (VIDEO) ボタンを押してください、撮影が開始されると (図4) の赤色LEDが撮影中は点滅した状態となります。そして再度 (VIDEO) ボタンを押すと動画データが保存され動画撮影モードが終了します。 ※データの書き込みがありますので撮影後は5秒ほど待って電源を切ってください。



(図4)

- 写真の連続撮影は初めの撮影から次の撮影まで2秒ほどの時間が必要です。
- 撮影時の反応が悪い場合は両撮影時に各ボタンを何度か押してください。
- 動画の撮影は一度ボタンを押して録画が開始されてから、再度ボタンを押すと停止します。録画開始後、再度ボタンを押さなければ動画は保存されませんのでご注意ください。

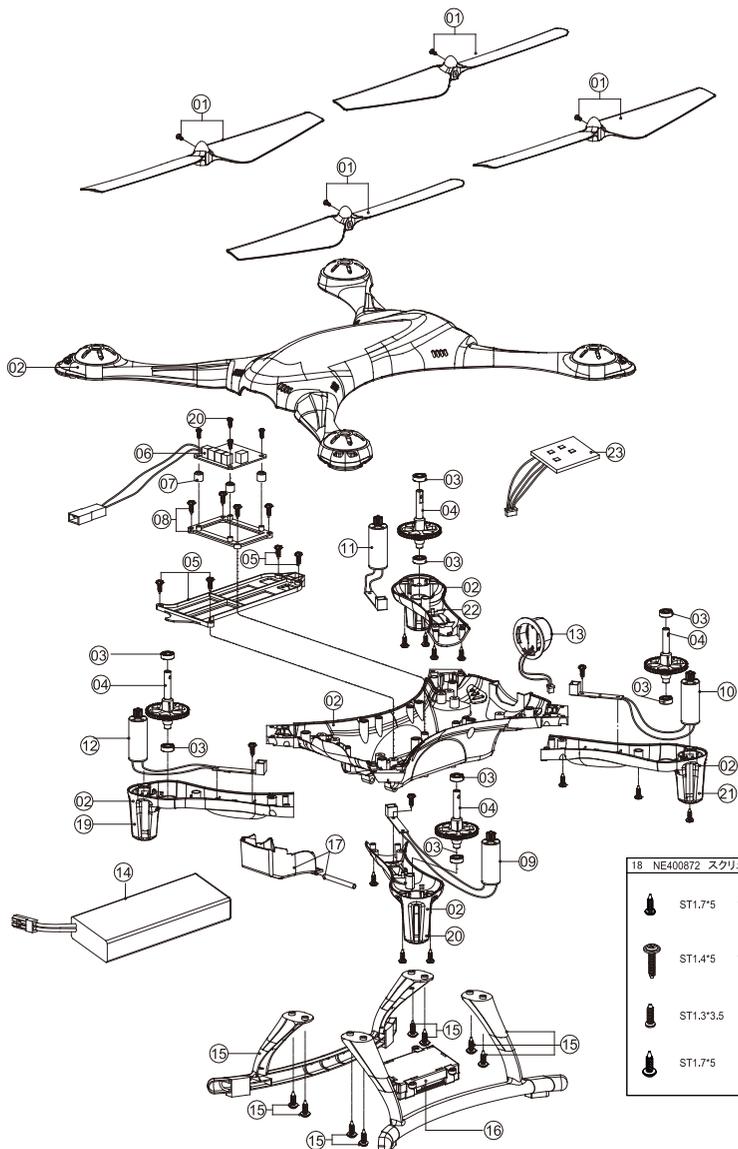
※保存された動画、静止画データの撮影日付はデフォルトの日付より変更することはできません予めご了承ください。

### (3) 付属USBカードリーダーの使用法

画像を参考に、マイクロSDを正しい向きでリーダーを挿入してください。その後、PCIに挿入することで認識され動画の確認が行えます。



## Galaxy Visitor 3 分解図



18 NE400872 スクリューセット	
	ST1.7*5 *32PCS
	ST1.4*5 *4PCS
	ST1.3*3.5 *6PCS
	ST1.7*5 *8PCS

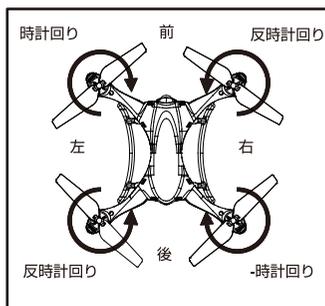
## Galaxy Visitor 3 パーツリスト

展開図NO	パーツ品番	パーツ名
01	NE400857	メインブレードセット
02	NE400858	フレームセット
03	NE400859	ベアリングセット
04	NE400860	ドライブギアセット
05	NE400861	バッテリーフレームセット
06	NE480292	GV3レシーバーセット
07	NE400388	ラバープラグセット
08	NE400862	レシーバーフレームセット
09	NE400863	正回転レッドライトモーターセット
10	NE400864	反回転ホワイトライトモーターセット
11	NE400865	正回転ホワイトライトモーターセット
12	NE400866	反回転レッドライトモーターセット
13	NE400869	テールライトセット
14	NE480318	GV3バッテリー
15	NE400870	ランディングスキッドセット
16	NE400465	カメラセット
17	NE400871	バッテリーカバーセット
18	NE400872	スクリューセット
19	NE400932	モーターアンダーフレーム 01 セット
20	NE400933	モーターアンダーフレーム 02 セット
21	NE400934	モーターアンダーフレーム 03 セット
22	NE400935	モーターアンダーフレーム 04 セット
23	NE400973	GV3気圧高度センサー

## プロペラの回転方向

モーターの回転方向とプロペラの向きが正しくないとフライト出来ません。実際にモーターを回転させ、図の通りモーターが回ることを確認します。特にモーターを交換した際や、プロペラを交換した際は必ず確認してください。

注意：各プロペラが下向きに風が発生していることを確認してください。



## プロポと機体のバインド方法



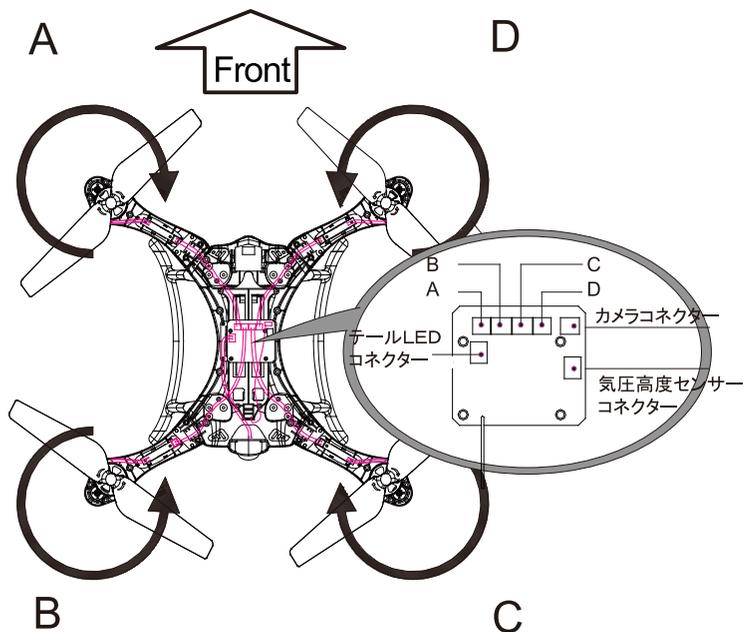
本製品のRTFモデルは工場出荷状態でバインドが完了しております、しかし送信機を変更した場合やプロボレス機は初めにバインドの必要がありますので下記の手順に従いバインド作業を行ってください。

- 1 スロットルが最スローであることを確認し送信機の電源を入れます。そして機体に30センチ以内まで送信機を近づけます。
- 2 機体の電源を入れます、すると機体後方の赤色LEDインジケーターが点滅～点灯を繰り返します。完全に点灯するとバインドが完了します、完了するまでにおおよそ15秒ほどかかります。

## モーター取り付け配線図

図を参考にコネクタを基盤に接続してください。

- モーターコネクタ-Aを基板Aの位置に接続します。  
モーター品番: NE400863 正回転レッドライトモーターセット
- モーターコネクタ-Bを基板Bの位置に接続します。  
モーター品番: NE400864 反回転ホワイトライトモーターセット
- モーターコネクタ-Cを基板Cの位置に接続します。  
モーター品番: NE400865 正回転ホワイトライトモーターセット
- モーターコネクタ-Dを基板Dの位置に接続します。  
モーター品番: NE400866 反回転レッドライトモーターセット



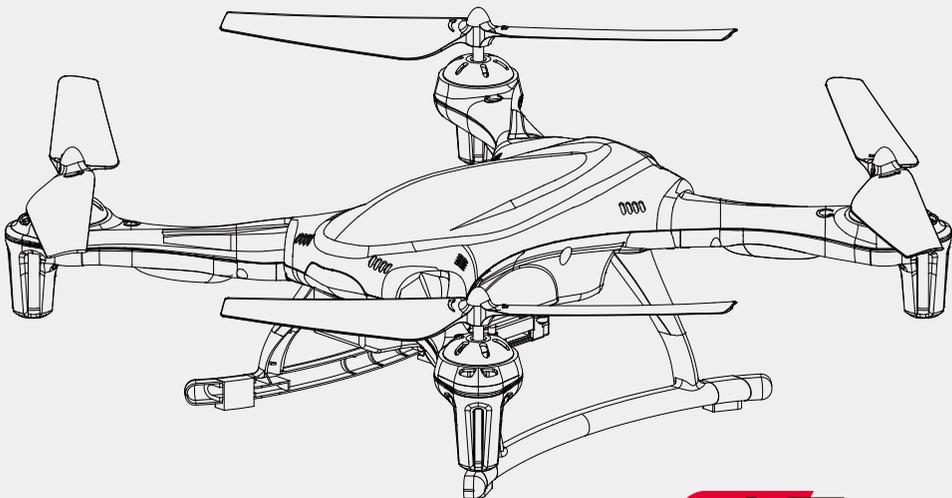


## フライトに関するQ&A

- Q. 離陸させようとすると機体が大きく傾き、離陸できない。
- A. バッテリーを装着する際、機体を手にお持ち頂いた状態で接続すると正しくジャイロが機能しない場合もありますので、出来るだけ水平な場所に置いた状態でバッテリーを繋ぎ、起動してからバッテリーホルダにバッテリーを挿入するようにしてください。
- Q. 高度制限モード、高度ロックモードで着陸しようとする10cm位の高さからスロットルを下げても着陸せずにそのままスロットルを下げるとモーターが止まってしまう。
- A. これは気圧センサーの誤差によるもので異常ではありません。
- Q. モーターを交換したらフライト出来なくなった。
- A. 23ページの記載通りにモーターの配線を正しい位置に接続しないと、正常にフライトできませんので再度ご確認の程お願い致します。
- Q. プロペラを取り付ける向きは決まっていますか？
- A. 決まっております、正しく浮力が付く向きに取り付ける必要があります。離陸の際に機体がひっくり返ってしまう場合はプロペラの取り付けを誤っている可能性が高いです。22ページをご確認ください。
- Q. フライト出来なくなるまでバッテリーを使用してから、バッテリーが充電できなくなった、充電してもすぐに動かなくなった。
- A. バッテリーが過放電している可能性があります。過放電とはモーターが動かなくなるまでご使用いただくと、充電できなくなることがあります。1セルバッテリー(3.7V)の場合、3.7V以下になると過放電と言えます。バッテリーチェッカーや電圧テスターでバッテリー電圧を計測することで判断できます。
- Q. 高度ロック使用時に高い高度にあげると素早く降りてこなくなり降下させようとしてスロットルを下げるとモーターが止まってしまう。
- A. スロットルにセンサーのアシストがある為、素早く降下させることはできません。比較的風が強い日は通常モードで飛行してください。
- Q. LiPoバッテリーの充電時間はどのくらいですか？
- A. バッテリー残量によっても変わってきますが、40分前後となります。
- Q. 飛行中、機体から異音が発生する
- A. プロペラが曲がり損傷している可能性があります。目に入らないよう十分注意し機体を横から見たときプロペラが二重に見えるときはプロペラの交換が必要です。異常音、飛行安定性の低下につながりますのでプロペラに異常がある場合はすぐに交換してください。

- Q. カムバック機能が上手く作動しない
- A. 送信機と機体には磁気センサーが装備されているため、以下に記載する場所では磁気センサーが正常に動作しない場合があります。  
「鉄骨製の倉庫」、「鉄筋ビルの室内」、「機器の多い室内」  
「都心のビル街」、「鉄塔の近く」、「金属等の導電性の床」
- Q. カメラが撮影できない、マイクロSDが読み込めない
- A. 付属のカメラシステムを使用する場合は、必ずマイクロSDをカメラに挿入した状態で、機体の電源を入れてください。送信機、機体の電源を入れた後にマイクロSDを挿入すると、正しく撮影できない場合がございます。また、マイクロSDの情報を正しく読み込むことができない場合は、PC等でマイクロSDのフォーマットを行った上で、再度上記手順に注意し撮影を行ってください。
- Q. 動画が正しく再生できない
- A. 以下の手段を行っても改善しない場合は弊社カスタマーサポートにお問い合わせください
- ・SDカードをフォーマットし再度撮影する。
  - ・動画ファイルをPCに保存し再生する。
  - ・可能であれば別のPCやSDカード、リーダーを用意し動画を確認する。
  - ・動画再生ソフトを複数用意し動画を確認する
- Q. ヘッドロックモードが正常に作動しない。
- A. ヘッドロックモードは機体が離陸する前にそのモードを作動させ離陸してからラダースティックで機体を回転させると正常に動作します。モードを作動させてから機体を地面に置き、手で機体を対面状態に向きかえたり、一度着陸すると正常に動作しませんのでご注意ください。
- Q. 加速度センサーのキャリブレーションとトリムの調整を行ってもある一定方向に流れる極端なドリフトが改善しない。
- A. 予め紙などで段差を作り機体をドリフトする方向とは逆に傾けた状態で加速度センサーのキャリブレーションを行ってください。
- Q. バッテリーが上手く取り出せない。
- A. バッテリーのコードが引っ掛かり蓋が開けられなくなる場合がありますのでコードをしっかりと奥に押しこみコードが蓋に絡まないようにしてください。
- Q. ブレーキファンクションが作動しているのに自動的にホバリングしない。
- A. 本機体は姿勢制御にGPSを使用しておりませんのでブレーキファンクション後も多少のドリフトが発生する場合があります、スティック操作による補正舵が必要です。
- Q. カムバック、フォローミー機能が上手く作動しない
- A. 本機体は姿勢制御にGPSを使用しておりません。そのため、カムバックはあくまでも操縦者の近くに戻ってくる機能であり送信機を傾げることで多少の補正が必要です。フォローミー機能は送信機を傾げることでカムバックの軌道を補正できる特徴を利用して行うアクションです、その為上手く動作させるには多少の練習が必要です。





**SLT**<sup>TM</sup>

**2.4GHz 4CH**

**HITEC**  
**MULTIPLEX**<sup>®</sup>

◎輸入販売元・お問い合わせ

〒133-0057 東京都江戸川区西小岩1-30-10 1F

株式会社 ハイテック マルチプレックス ジャパン

Nine Eagles 専用ダイヤル:03-6458-0191

受付時間:月曜日～金曜日(祝祭日・夏期休暇・年末年始を除く)

10:30～12:30、13:30～16:30

Web Site : [www.hitecrd.co.jp](http://www.hitecrd.co.jp)

こちらのお問い合わせ先はカスタマーサービス専用ダイヤルとなっております。  
お電話でのご注文は承る事ができませんので予めご了承の程お願い致します。